

調査の概要

1. 調査の目的

県内景気の動向や各業種の状況をより迅速に把握し、景気判断の基礎資料とする。

2. 調査の実施概要

(1) 調査の範囲

県内を福井地区、坂井地区、奥越地区、丹南地区、嶺南地区の5地区に分け、各地区で働くさまざまな業種の方、100名を調査客体とする。

地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計動向	企業動向	雇用情勢
福井	福井市	39	20	14	5
坂井	坂井市、あわら市	12	6	6	0
奥越	大野市、勝山市	11	6	3	2
丹南	鯖江市、越前市とその周辺部	16	7	7	2
嶺南	敦賀市、小浜市とその周辺部	22	12	6	4
計		100	51	36	13

(2) 調査事項

- ① 3か月前と比べた景気の現状判断とその理由
- ② 2～3か月後の景気の先行き判断とその理由

(3) 調査期日等

毎月中旬～下旬に調査実施し、月末～翌月初旬に公表。

3. DI値の算出方法

5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じて、DI値を算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

4. DI値について

DI値が50の場合は横ばいを示し、0に近づくほど悪化傾向、100に近づくほど好転傾向であることを示す。

0 ← 50 → 100
 悪くなっている 変わらない 良くなっている

調査結果

1. 景気の現状判断DI

○県全体の現状判断DI

(DI)	年 月	H24 8	9	10	11	12	H25 1	(前月差)
合計		46.9	47.1	44.7	41.8	40.3	41.5	+1.2
家計動向関連		46.4	45.3	44.8	38.5	38.0	39.1	+1.1
小売		46.3	42.2	43.8	32.8	35.9	38.3	+2.4
飲食		37.5	56.3	43.8	56.3	31.3	25.0	▲6.3
サービス		50.0	50.0	47.9	47.9	45.8	45.8	+0.0
企業動向関連		46.3	47.8	42.6	45.6	41.9	41.7	▲0.2
製造業		47.9	46.9	43.8	46.9	39.6	42.4	+2.8
非製造業		42.5	50.0	40.0	42.5	47.5	40.0	▲7.5
雇用関連		50.0	52.1	50.0	44.2	44.2	50.0	+5.8

○回答別構成比

	年 月	H24 8	9	10	11	12	H25 1	(前月差)
良くなっている		1.0%	2.1%	2.1%	1.1%	2.1%	1.1%	▲1.0
やや良くなっている		13.5%	11.7%	13.8%	10.5%	6.3%	8.5%	+2.2
変わらない		61.5%	60.6%	52.1%	49.5%	49.5%	53.2%	+3.7
やや悪くなっている		19.8%	23.4%	24.5%	32.6%	34.7%	29.8%	▲4.9
悪くなっている		4.2%	2.1%	7.4%	6.3%	7.4%	7.4%	+0.0

2. 景気の先行き判断DI

○県全体の先行き判断DI

(DI)	年 月	H24 8	9	10	11	12	H25 1	(前月差)
合計		41.1	41.2	41.2	40.0	42.4	52.4	+10.0
家計動向関連		37.2	40.6	39.1	39.6	42.7	52.1	+9.4
小売		35.3	43.0	36.7	39.8	42.2	51.6	+9.4
飲食		31.3	37.5	43.8	25.0	37.5	37.5	+0.0
サービス		45.5	35.4	43.8	43.8	45.8	58.3	+12.5
企業動向関連		45.6	41.9	43.4	41.2	42.6	53.0	+10.4
製造業		44.8	42.7	41.7	40.6	42.7	56.5	+13.8
非製造業		47.5	40.0	47.5	42.5	42.5	45.0	+2.5
雇用関連		44.2	41.7	43.8	38.5	40.4	51.9	+11.5

○回答別構成比

	年 月	H24 8	9	10	11	12	H25 1	(前月差)
良くなる		1.0%	0.0%	0.0%	1.1%	1.1%	3.2%	+2.1
やや良くなる		6.3%	9.6%	10.6%	5.3%	12.6%	22.3%	+9.7
変わらない		54.2%	51.1%	47.9%	50.5%	49.5%	60.6%	+11.1
やや悪くなる		33.3%	34.0%	37.2%	38.9%	28.4%	8.5%	▲19.9
悪くなる		5.2%	5.3%	4.3%	4.2%	8.4%	5.3%	▲3.1

3. 判断理由

(1) 景気の現状判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由	
①良くなっている	企業 動向	福井	繊維	・ 昨年10月頃から良くなっており、それが今も続いている。	
②やや良くなっている	家計 動向	嶺南	商店街	・ 新春の売り出しやバーゲンセールなどが始まり、売上増加などの成果が出ている店舗がある。 ・ 雪の影響も少なく助かっている。	
		丹南	百貨店、 ショッピングセンター	・ 昨年に比べ、年末年始の動きも良かった。 ・ 販売量や来客数など、徐々に良くなっている。	
		丹南	スーパー	・ 客単価が伸びている。	
		福井	駐車場	・ 利用者台数、収入ともに増加。 ・ 選挙の関係でやや増加しているものの、一時的なもので、先行きは依然不透明。	
	企業 動向	坂井	繊維	・ 春物の生産が開始した。	
		福井	一般機械	・ 円安への進行に伴う、外需増加、国内設備投資需要の微増。	
		嶺南	医薬品	・ 受注量に特に変化はなく、良い水準を維持している。	
	雇用	福井	ジョブカフェ担当者	・ 新規求人数の動きがやや良くなっている。	
	③変わらない	家計 動向	福井	商店街	・ 駅前来客数や駐車場の入庫等々、前年と比較しても変わらず。
			丹南	小売店	・ 客単価は上向き気配がなく、依然として良くなっていない。
福井			百貨店、 ショッピングセンター	・ 来客数はやや増えているが、客単価は前年を下回っている。	
福井			百貨店、 ショッピングセンター	・ 初売りが厳しい結果であった。	
丹南			スーパー	・ 例年、年末を終えると、単価の低い商品や少量パック商品が中心となり、客数に対しての売上が厳しい状況となる。	
福井			大型小売店	・ 販売量が増えない。	
嶺南			大型小売店	・ 客単価が上昇しない。	
奥越			土産品等販売店	・ 来客数や販売量は変わらない。	
嶺南			ドライブイン	・ 売上高の遞減が続いている。	
福井			ビジネスホテル	・ ビジネスマンの宿泊客が例年に比べ少し少ないように思うが、全体的にはあまり変わらない。	
福井			ビジネスホテル	・ 来客数と予約状況を見ると、冬期の状況は何時もと同じ様な動向である。 ・ 特別良くなる傾向も見受けられない。	
福井			旅行代理店	・ 来客数に変化が見られない。	
福井			タクシー	・ 収入の動向に変化はない。	
企業 動向			坂井	繊維	・ 得意先に変化は見られない。
		坂井	一般機械	・ 円安に動いている為、顧客の方は徐々に良くなると期待している。 ・ しかし、製造業がすぐに良くなるという兆しは見えない。	
		奥越	電気機械	・ 受注量は下げ止まっている。	
		嶺南	化学・プラスチック	・ 例年、この時期は引き合いが少ないが、商品の動きは鈍い。	
		福井	化学・プラスチック	・ 住宅関連は上向きと言われているが、売上に連動するまでの動きには至っていない。	
		丹南	伝統工芸	・ 販売量は変わらず。	
		丹南	食料品製造	・ 外食全体は冷え込んでいる。 ・ 正月の1日当たりの売上は落ち込んだ。	

現状	分野	地区	業種	理由		
③変わらない	企業 動向	福井	IT関連	・受注の動きに変化はない。		
		福井	金融機関	・地場産業における設備投資は依然低調な状況が続いており、前向きな動きが見られない。		
		嶺南	建設業	・公共の案件は減少気味だが、補正予算が付いたので期待したい。		
		福井	不動産	・住宅用の土地の探索依頼などに変化は見られないが、予算は下がりつつある。		
		福井	運輸	・売上は昨年9月ごろまでは前年比マイナスが続いていたが、10月以降は昨年並みで推移している。		
		福井	運輸	・取引先の受注量が小ロット化している傾向は続いている。		
	雇用	奥越	自治体労働政策担当課	・有効求人倍率は表面上改善されているが、季節的なものであり、実質的な改善とは判断できない。		
		丹南	自治体労働政策担当課	・有効求人倍率は1倍を上回っているものの、製造業での求人は減少している。 ・正社員の求人割合は減少しており、求職者とのミスマッチの幅が広がっている。		
		福井	労働相談員	・製造業、物品販売業等の企業の業績不調が伝わってきており、消費の上向きは見られておらず、変化は感じられない。		
		嶺南	労働相談員	・11月の敦賀の有効求人倍率、新規求人倍率は、前年を下回った。 ・一方、小浜は有効求人倍率、新規求人倍率ともに前年を上回った。		
		奥越	学校就職担当者	・地元の企業もなかなか厳しい状況の様子。 ・近くのスキー場の閉鎖もあり、地元として今後どうしていくのか気がかり。		
		福井	学校就職担当者	・就職希望者の約95%が内定し、昨年度の同時期とほぼ同じ水準。 ・企業は依然として人物本位の採用を重視しており、今後の景気に不透明感を持っているように思われる。		
		嶺南	学校就職担当者	・求人数は伸びていない。		
		嶺南	ジョブカフェ担当者	・求人数はやや増加しているが、マッチする人材がいれば採用を考えるという企業が多い。 ・原子力発電所も今後どうなるか不透明な状況。		
		福井	人材派遣会社	・良いと判断出来る材料がない。		
		福井	就職情報誌	・年末に向けて悪くなったが、選挙を境に落ち着きを取り戻している。		
		④やや悪くなっている	家計 動向	丹南	商店街	・来客数や客単価が減少してきている。
				奥越	商店街	・地域の人口減少や高齢化が進んでいる。
				福井	小売店	・客数が減っている。
坂井	小売店			・積雪時期のため、特に県外客が減少する。		
奥越	小売店			・来客・販売ともに鈍い。		
奥越	百貨店、 ショッピングセンター			・前年に比べ、売上の減少が続いている。		
福井	スーパー			・客数がやや減少、利用単価はやや上昇。		
嶺南	レストラン			・雪が降ると、客の入りは極端に悪くなる。 ・特に土・日の入りが悪い。		
福井	居酒屋			・正月も過ぎ、客の動きが少なくなっている。		
嶺南	旅館			・変わった動きはほとんどなく、前年割れが3四半期続いている。		
坂井	観光・レジャー施設			・来客数がやや減少している。		

現状	分野	地区	業種	理由
④やや悪くなっている	企業 動向	奥越	繊維	・相変わらず受注環境が厳しく、特にスポーツ・アウトドア分野の輸出関連が前年比を大きく下回っている。
		福井	一般機械	・受注量や販売量の動きがやや低調。
		丹南	鉄鋼	・受注が低迷している。
		丹南	伝統工芸	・受注の動きがやや悪化している。
		福井	商社	・個人ガソリンの消費量はやや減少し、原油価格の上昇を価格転嫁できていないため、利益が悪化している。 ・工場の稼働も落ちていることから、重油の消費量も減少。
		福井	金融機関	・景気業況調査では、依然としてやや悪い状況が続いており、また、来期も悪化するとの予想。
		嶺南	運輸	・冬期間での輸送業は減少。
		雇用	嶺南	就職情報誌
⑤悪くなっている	家計 動向	嶺南	コンビニエンスストア	・来客数の減少、客単価の低下。
		嶺南	コンビニエンスストア	・悪化しているというよりも、依然の状況に戻らない。 ・来客数、売上は低迷。
		嶺南	割烹	・来客が全くなく、先が見えない状態にある。
	企業 動向	丹南	眼鏡	・小売店では中国製のチェーン店商品が売れ、産地商品の受注が極端に少ない。
		福井	眼鏡	・安い物しか売れない。
		丹南	電気機械	・スマートフォンの需要が減少。
		坂井	IT関連	・受注額の減少、商談の長期化や中断が発生している。

3. 判断理由

(2) 景気の先行き判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
①良くなる	家計 動向	福井	自動車整備	・例年、2～3月は車の需要期で、売上増加が見込める。
		福井	繊維	・4月頃まで好調は続くと予想している。
	企業 動向	福井	一般機械	・景気刺激策の浸透などにより、円安がこのまま続けば回復が見込める。
②やや良くなる	家計 動向	丹南	商店街	・政権交代による景気刺激策に期待が持てる。
		嶺南	商店街	・現在、新春セールを開催中であり、今後も定期的にイベントを開催予定。 ・来街者は増えており、それに伴い売上も増えると思う。
		坂井	小売店	・春に向けて県外客の増加が見込まれる。
		奥越	小売店	・新政権に期待している。
		丹南	スーパー	・客単価が上昇し、購買意欲が上がっている。
		嶺南	コンビニエンスストア	・春をむかえ、県外客を中心に、人の動きが少しずつ活発になる。
		奥越	土産品等販売店	・景況感に明るいさを感じている。
		嶺南	ドライブイン	・新政権となり、原発稼働に期待が持てる。
	企業 動向	坂井	繊維	・政権交代により、円安、株高が進んでおり企業にとって大きなプラス。 ・経済対策、デフレ脱却など今後期待したい。
	奥越	繊維	・政権交代により、デフレ脱却、経済再生へのアナウンス効果もあり、円高是正、株高の動きが顕著であり、ムードが良くなっている。 ・特に円高で低迷していた輸出関連での回復が期待される。	
	坂井	繊維	・春物、夏物の生産がピークを向かえる。	
	丹南	眼鏡	・春先に向けての注文が若干入ってきた。	
	坂井	一般機械	・新政権の施策により、経済効果に結びつき、円安も継続すれば、良くなる方向に進む。	
	丹南	電気機械	・春先の需要増にむけ、受注が増加する見込み。	
	嶺南	化学・プラスチック	・自民党の緊急経済政策に期待する。	
	雇用	丹南	自治体労働政策担当課	・政府の景気判断においても下げ止まりの兆しと報告されており、円安、株高が良い方向に影響してくることを期待している。
	奥越	学校就職担当者	・最近、円安・株高の傾向にあり、全体的にはやや良くなっていくと考えている。 ・しかし、企業の業績が上がっても、先行き不透明であり、お金があまり出回らない状況は変わらないのではないかと。	
	福井	ジョブカフェ担当者	・大卒求人数が僅かながら増えていると感じる。	
	福井	人材派遣会社	・消費税のからみで、多少の購買意欲が上がると予想出来る。	
	③変わらない	家計 動向	福井	商店街
丹南			小売店	・円安による原材料の値上がりが懸念材料。
福井			百貨店、ショッピングセンター	・円安、株高と企業の景気回復の方向に向かっているが、個人の収入増には時間がかかり消費も変わらないと思われる。
福井			百貨店、ショッピングセンター	・景気回復の期待はあるものの、消費が向上するには時間がかかると思われる。
丹南			百貨店、ショッピングセンター	・地域に中小企業が多く、春以降、地域経済がどうなるかわからない。

現状	分野	地区	業種	理由
③変わらない	家計 動向	丹南	スーパー	・年が明けて、春先までは節分やバレンタイン、ひなまつり等、催事は続くものの、全体的には消費は冷え込む傾向にある。
		福井	大型小売店	・しばらくは厳しい状況が続く。
		嶺南	大型小売店	・市場の景気が良くなる状況にない。
		嶺南	レストラン	・経済が上向きになって、少しでも売り上げが上がると良いが、顕在化するまでは当分時間がかかる。
		福井	駐車場	・景気後退等からくる個人消費の落ち込みが予想され、しばらくは変化がないと思う。 ・新政権下における景気浮揚策に期待したい。
		嶺南	旅館	・一般の方々にお金が回り始めないと回復しないと考えており、まだまだ時間がかかる。
		福井	ビジネスホテル	・コンサートなどのイベントがコンスタントにあり、団体客は順調。 ・一方、インターネットでの宿泊予約が伸び悩んでおり、懸念材料。
		福井	ビジネスホテル	・新政府の景気対策により今後景気は良くなると予測される。 ・ホテル業界に景気回復が反映されるのは、半年程度遅れるため、まだ変化はない。
		坂井	観光・レジャー施設	・上向き材料が見当たらない。
	企業 動向	福井	一般機械	・当社の関連業界の様子は依然変わらない。
		奥越	電気機械	・政権が変わった事による円安で期待はあるが、まだ見えていない。
		福井	化学・プラスチック	・来年の消費税増税までは、住宅市場は特別に伸長することはないとみている。
		丹南	伝統工芸	・現在の販売量から考えると、この先良くなるとは考えられない。
		奥越	食料品製造	・2~3か月程度では変わらない。
		丹南	食料品製造	・円安傾向にある事で良い事もあるが、海外からの仕入があるため、仕入れ価格への影響が心配。
		嶺南	医薬品	・2~3か月先の受注については確定しており、特段変化ない。
		福井	IT関連	・受注の動きに変化はない。
		福井	金融機関	・大飯原発3,4号機の再稼働や、敦賀港のコンテナ貨物取扱量が2年連続で過去最高更新するなど地域経済におけるプラス材料は増えつつある。 ・一方、原発立地県としての観光や食への風評などマイナス材料を抱えていることから依然不安感は拭えない。
		福井	金融機関	・景気業況調査では、来期は悪化見込み。 ・政府の経済対策、日銀の物価指表2%による景気回復に期待したい。
		嶺南	建設業	・補正予算の執行および新年度予算執行に期待するが、例年3月4月は低迷するので大きな伸びは見込めない。
		福井	不動産	・まだ時間的な余裕を感じているのか、業界内では消費税の問題はそれほど問題になっていない。
		福井	運輸	・新政権の景気刺激策等々気持ち的に明るいものがあり、少なくとも悪くなることはないと考えている。
		福井	運輸	・今後も変わらず、厳しい状況は続くものと予測される。
		嶺南	運輸	・年度末の輸送量は、昨年ほどは見込めない。

現状	分野	地区	業種	理由
③変わらない	雇用	奥越	自治体労働政策担当課	・有効求人倍率は表面上改善されているが、季節的なものであり、実質的な改善とは判断できない。
		福井	労働相談員	・急激に良くなるとは思えない。
		嶺南	労働相談員	・原子力関係の動向が不透明な状況にあり、嶺南経済情勢全体が月を追うごとに悪くなっている。 ・特に関連する事業に影響が大きい。 ・しかし、昨年の中議院選挙での政権交代により、原子力の動向が以前より前向きな状況にあり、今後の方向によっては変化がありそうな雰囲気を感じる。
		福井	学校就職担当者	・景気回復の期待感が定着するには、年単位の時間を要する。
		嶺南	ジョブカフェ担当者	・求人数はやや増加しているが、マッチする人材がいれば採用を考えるという企業が多い。 ・原子力発電所も今後どうなるか不透明な状況。
		福井	就職情報誌	・アメリカや日本の様々な動向が、春以降影響を与えていくのではないかと。
④やや悪くなる	家計動向	福井	小売店	・銀行がお金を貸さない。
		奥越	百貨店、ショッピングセンター	・買物客からは、景気の回復感を感じられない。 ・経済界からのマインドが伝わってくるのは、まだまだ時間がかかる。
	企業動向	丹南	鉄鋼	・先行受注は低迷している。
		丹南	伝統工芸	・取引先の様子がやや良くない。
	雇用	嶺南	学校就職担当者	・政権交代はしたが、敦賀原発をはじめ、大飯電発の地層の不安が増長しており見通しは暗い。
⑤悪くなる	家計動向	嶺南	コンビニエンスストア	・今のところ明るい材料は見当たらず、当面、今の状況が続くと考えられる。
		嶺南	割烹	・消費税、原子力の問題など、どれをとっても不安な事ばかりで、決して良くなるとは思えない。
	企業動向	福井	眼鏡	・円安といってもまだまだ高い。 ・国内において国産の競争力が低い。
		坂井	IT関連	・商談の長期化、案件の小型化が進んでいる。
	雇用	嶺南	就職情報誌	・既設原発の停止や再稼働の見通しが立たないことにより、原発関連企業の経営状況悪化、人員減少により市内の経済活動が鈍化し、雇用も悪化すると思われる。

4. 参 考

(1) 調査対象の構成

調査対象		人数
家計動向関連		51
商店街、小売店		
	商店街関係者	5
	小売店経営者・従業員	7
百貨店、SC等		
	店長・売場主任	10
スーパー		
	店長・従業員	6
家電販売店		
	経営者・店長・従業員	2
コンビニエンスストア		
	店長	2
ドライブイン等		
	経営者・スタッフ	3
飲食関連		
	レストラン等経営者・店長・スタッフ	2
	居酒屋等経営者・店長・スタッフ	2
その他サービス関連		
	サービス業経営者・従業員	4
観光関係		
	旅館関係者	2
	ビジネスホテル関係者	2
	観光・レジャー施設関係者	1
	旅行代理店経営者・従業員等	2
	タクシー運転手	1
企業動向関連		36
製造業経営者・従業員		
	繊維工業	4
	眼鏡工業	3
	一般機械工業	3
	電気機械工業	3
	化学・プラスチック工業	3
	鉄鋼業	2
	伝統工芸	2
	商社	2
	食料品製造業	2
	その他製造関連	2
非製造業経営者・従業員		
	IT関連	2
	金融機関	2
	建設・不動産	3
	運輸	3
雇用関連		13
	自治体労働政策担当課	2
	労働相談員	2
	学校就職担当者	4
	ジョブカフェ担当者	2
	人材派遣会社	1
	就職情報誌編集者	2
計		100

4. 参 考

(2) 調査票

あなたの日々の仕事や仕事を通じて接するお客様の様子から分かる、あなたの身の回りの景気の状態についてご回答ください。

(企業・団体名および記入者氏名)

【質問1】

景気が上向きか下向きか、どちらの方向に向かっているかの質問です。
今月のあなたの身の回りの景気は、3か月前と比べて良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなっている ②やや良くなっている ③変わらない
④やや悪くなっている ⑤悪くなっている

【質問2】

質問1でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答

【質問3】

将来の景気についての質問です。今後2～3か月先のあなたの身の回りの景気は、今月より良くなると思いますか、悪くなると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなる ②やや良くなる ③変わらない ④やや悪くなる ⑤悪くなる

【質問4】

質問3でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答

本書の内容についての質問は、下記にお問い合わせください。

福井市大手3丁目17-1

福井県産業労働部政策推進グループ

TEL 0776-20-0364 (ダイヤルイン)